

ノウサギN型誘引捕獲罠

取組の目的

ノウサギによる森林被害が全国的に増加傾向にあり、新見市の鳥獣被害防止計画においてもノウサギは対象鳥獣に指定されている。当センターが管理しているコウヨウザンの試験地においても、コウヨウザン苗の9割がノウサギの食害を受けたところであり、今後は防護対策だけでなく、捕獲等による新たな対策を検討することが急務となっている。

このような現状に鑑み、ノウサギ専用罠「ノウサギN型誘引捕獲罠」を試験的に設置し、効果的な捕獲方法について調査を行っている。

取組の内容

場 所：岡山県新見市 赤滝国有林526に1林小班（コウヨウザン試験地）

内 容：ノウサギN型誘引捕獲罠を2箇所設置し、当該罠の近傍に定点カメラを2箇所ずつ設置

運 用：罠の見回りを定期的に行い、ノウサギの捕獲ができた場合、猟友会へ殺処分を依頼

期 間：令和4年10月中旬～令和4年12月中旬

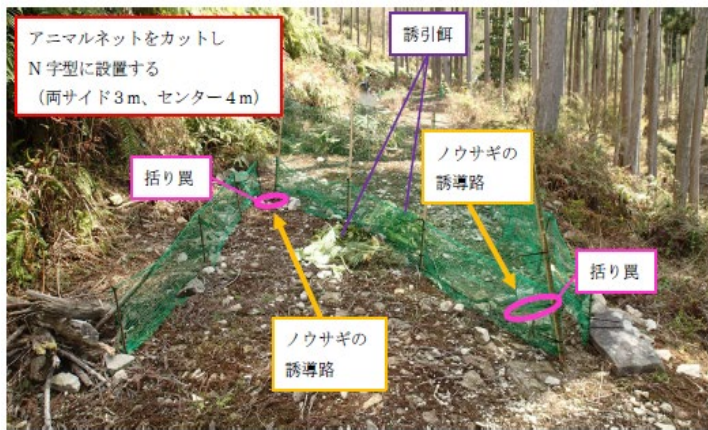
捕獲の仕組み

1. ノウサギが好む餌を散布し、ノウサギを誘引する。

（※調査の結果、クズ、カラスザンショウ、ネムノキの嗜好性が強く、誘引餌として適している。）

2. ノウサギが狭いところを通りやすい習性を利用して、1の餌で誘引したノウサギを、括り罠の取付位置（N型罠の狭窄部分）へ誘導し、捕獲する。

罠の仕様



位置図



※ノウサギは写っていたが捕獲には至っていない。